

こぶし だより

働こう障がい者も
SSKW
働けるんだオレたちも



大盛況の「荒馬座」公演（宇都宮市文化会館）

CONTENTS

- ① トピックス(1)「荒馬座公演」……………2P～3P
- ② 特集「新所長紹介」……………4P～6P
- ③ トピックス(2)「イチゴ狩り」・新役員名簿……………7P
- ④ アドレス・編集後記……………8P

No. 339

2010
5

トピックス

こぶしの会 それぞれの現場から

Topics

民族歌舞団「荒馬座」公演

四月一七日は、肌寒い雨の朝を迎えました。この日は、宇都宮市文化会館で民族歌舞団「荒馬座」公演が開催される日でした。

社会福祉法人こぶしの会は、昭和四九(一九七四)年一月三日、日曜作業所でスタートし、五年の無認可時代を経て、昭和五三(一九七九)年二月社会福祉法人の認可を取得、昨年一二月で丸三〇年を迎えました。

三〇年の節目の時、こぶし作業所新築移転と芳賀町バリアフリーケアホーム建設を控え、三〇年の節目を、利用者も家族も、そして支えてくださった多くの人たちも元氣の出る取り組みをしよう、と計画されたのが「荒馬座」の公演でした。

「荒馬座」は、東京に本拠地を置き、「日本の働く人々が作り出してきた民俗芸能に、

今を生きる私たちの思いをのせて：人が人らしく生きていくのが難しい世の中だから、たくさんの人たちと手をつなぎ、明日への力となる文化を作りたいと願い：」(荒馬座パンフより)活動しています。大変な時だからこそ、老若男女が楽しめるもの、そしてエネルギーに溢れるものを！と出演を依頼したのでした。

今回の取り組みは、「荒馬座」の公演だけでなく、こぶしの会利用者の絵画の展示、自主製品であるパンの販売、他事業所の自主製品の販売も企画し、こぶしの会について知っていたら機会としました。

一時三〇分に藤田実行委員長、こぶしの会応援団を代表して谷後援会長のあいさつから始まりました。司会は若い職員と築さん。築さんは、この役割を引き受けるのに何日も悩んだ末に決意してくれました。そして利用者を代表して、こぶしに来た頃、泣いてばかりいていつも不安でいっぱいだった木村浩子さんが、少しずつ力を蓄え、自信をつけ、こぶし作業所自治会長として、一つひとつ自分の言葉でお礼のあいさつをしました。

「荒馬座」は、勇壮な「八丈島太鼓」で始

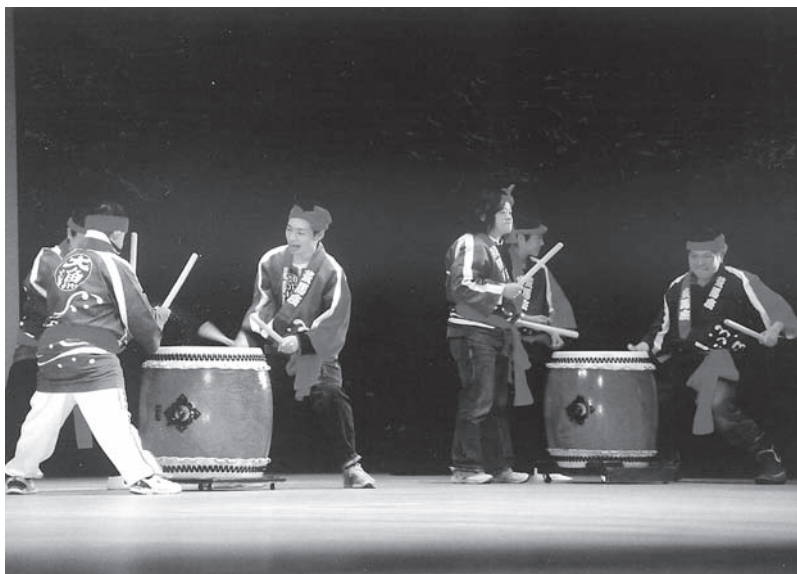


挨拶する藤田勝春理事長(右)と木村浩子さん(こぶし作業所自治会長=左)

まりました。『荒馬踊り』では、「ラッセラー！ラッセラー！」の掛け声が会場いっぱいに広がりました。ホールを飛び出し、モニターを見ながらロビーで踊り出す子どもたちもいました。

「ソーラン節」は、こぶしの会の利用者と太鼓教室に通う子どもたち一人がステージに上がり、「荒馬座」の座員と同じ半被姿で、ぶっつけ本番にもかかわらず踊りに合わせ見事な太鼓を披露してくれました。

一五分の休憩時間には、販売コーナーに人が押し寄せて、すべての商品が完売となりま



「ソーラン節」にノって太鼓をたたく

した。

後半のステージは、「沖縄の豊年踊り」で始まり、「竿灯」、最後は「秩父屋台ばやし」まで一気に進んでいきました。二時間に及ぶ公演でしたが、その長さを感じさせないほど、あつという間に時間が過ぎてしまいました。花束贈呈、そして普段はあまりやらない「アンコール」にも快く応えていただきました。

した。

会場を出るお客様からは、「楽しかったよ!」「想像以上だった。来てよかった!ありがとうね」「荒馬座と会場が一緒になって感動した」と、皆さんから感想をいただきました。

今回の取り組みは、こぶしの会として、こぶし作業所の建設移転、バリアフリーケア

ホームの建設、障害者自立支援法に基づく全事業所の事業移行と大きな事業を抱え、年度末年度初めの通常でも混乱する時期と重なった取り組みであったとはいえ、それを承知の上で取り組み決意をしたにもかかわらず、「こんなに良かったらみんなに声をかけたのに:」「もっと早く言ってくれば広められたのに:」という言葉に象徴されるように、社会福祉法人の三〇年を記念する取り組みになつていったのか、素晴らしい舞台をより多くの方と共有するためにやるべきことはやりつくせたのか?等、多くの課題や不十分さを残したものになってしまいました。

それでも「太鼓だけではなく、踊りがあつて視覚的に楽しめた。とてもよかった」との聴覚障がい者の感想や大勢参加してくれた保育園の子どもたちの元気で明るい歓声、利用者が舞台と一体になつて楽しむ姿に感動できた取り組みでもありました。

後援団体、協賛広告でご協力くださった企業・団体、記事を掲載してくださったマスコミ関係の皆様、そして何よりお忙しい中実行委員として取り組んでくださいました皆様に感謝申し上げます。

(鈴木)

= 特 集 =

新 所 長 紹 介

～どうぞ、よろしくお願ひします～

社会福祉法人こぶしの会は、4月からの人事異動により、新たな体制で始動しました。新しい理事会、評議員会は別表(P7)のとおりです。また、昨年までの各事業所の所長は、法人業務に専念し、すべての事業所と居住生活支援事業(ケアホーム、グループホーム)に、新任の所長が配属されました。今回は、それぞれに新任の抱負を述べてもらいました。どうぞよろしくお願ひいたします。

こぶし作業所 所長 増田 俊雄さん

4月1日に新築・移転したニューこぶし作業所の所長の増田です。3月31日までは、栃木県職員だったので定年退職後の第2の職場です。最後の職場は県南高等産業技術学校の校長でリーマンショック後の雇用悪化や経済悪化の中、障がい者も含めた職業訓練・雇用の促進という仕事でした。

県に入ったのが昭和49年、無認可のこぶし共同作業所が宇都宮市の民家の一角でスタートした年です。最初の配属は、生まれて2年目だった障害福祉課、その後20年目にも障害福祉課に戻りました。保健所・福祉事務所も含めて社会福祉関係の勤務が長かったこともあり、50歳で一念発起して通信教育で社会福祉士の資格も取りました。こぶしの会との関係では、評議員を6年務めてきましたが、欠席も多く反省しています。

最後に趣味の話。大の山好きで土・日は家にいません。これからもいけるか心配です。卒業記念に本を出しました。「とちぎ里・山歩き」随想舎からの出版で1,500円。本屋に並んでいますので、興味のある人はどうぞ。



けやき作業所 所長 先瀬 和文さん

拝啓 新緑が風に薫る季節となりました。皆さまにおかれましては益々ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、4月1日付けで、前亀田所長の後任としてけやき作業所所長を命じられました先瀬和文(さきなだかずふみ)と申します。少し変わった名前かと思いますが、出身は砂丘と20世紀梨で有名な鳥取県です。砂丘ではラクダに乗れたり、梨のカキ氷などが



楽しめますよ。しかし、生まれてすぐに引越しをしたものですから、生活歴が一番長いのは栃木県です。

昨年度から芳賀町(けやき作業所)の勤務となりましたが、梨・ぶどう・イチゴ・りんごなどの産地であり、また、町民祭などでは保護者の方が作った漬物やおこわ・お餅など、“おいしい地域”のイメージが私の中ですっかり根付いてしまいました。また、人の温かみのあふれるところで、家族会・後援会・ボランティアさんなど地域の方にはいつもお世話になりっぱなしです。

このような恵まれた環境の中、今年度もパン・弁当・創作活動などの作業を通しながら、なかまの自立に向けての支援を行っていく所存であります。つきましては、今年度も皆さまの変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。 敬具

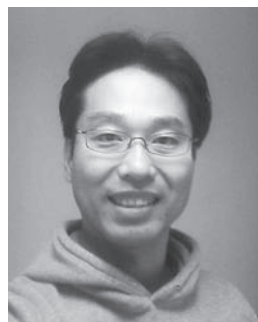
第2けやき作業所 所長 小幡 恭弘さん

第2けやき作業所の所長になりました小幡恭弘と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

自宅が黒磯なので、時には雪を背負っての通勤など機動力に少々弱いところもありますが、芳賀地域での勤務も2年目に入って、ますます地元意識をもって仕事に励んでいます。

私の所長としてのキーワードは「生活の手ごたえ」にします。これは、ご家族のみなさん、職員はもちろんのこと、利用者のみなさんが地域の中で、ひとりの生活者として、自分がここにいることの実感をもちながら生活していけることを実現していきたいという思いです。

第2けやき作業所が利用者・ご家族のみなさんのみならず、地域のみなさんからも必要とされる事業所に近づくように、職員一丸となって精一杯任された職務を努めてまいります。至らない点も多く、ご迷惑をお掛けすることばかりかもしれませんが、ご指導、ご鞭撻いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。



セルプ・みらい 所長 青木 利和さん

皆様、こんにちは！ この4月よりセルプ・みらいの所長に就任した青木利和と申します。よろしくお願いいたします。

25歳のころより、この福祉の世界にお世話になって早20年強たちました。自分は何をやってきたのか、そして何をなしえてきたのか、自問自答をしてみると今年の自分のテーマが浮かび上がってきました。

テーマ：「かえてはいけないもの、かえなくてはならないもの。」

・かえてはいけないもの……なかまの社会参加、利用者の支援、所得保障etc

・かえなくてはならないもの…社会の構造そのもの、障害者自立支援法etc

なかまの方々や家族、支援する職員、後援会そして地域。車の両輪となりながら一緒



に歩いていきたい、そして自分の今年のテーマを構築し、クリアしていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

県東ライフサポートセンター「真岡」所長
チャレンジセンターセンター長 **和田 洋さん**

はじめまして、和田 洋と申します。

生まれ育ちは神奈川県なので、“栃木県”と聞き思い浮かべるのは、小学生のころ、修学旅行で行った「日光」と、地名だけは知っていた「宇都宮」くらいでした。ちなみに12年くらい前、四国の香川県から、なぜか茨城県に移ってきました。

“こぶしの会”入社後は、第2けやき作業所、県東ライフサポートセンター（当時は精神障がい者地域生活支援センター）に配属され、支援員・相談員・ジョブコーチとして勤務、そして3年前から真岡地区にある就業・生活支援センターに勤務し、主に障がいのある方々の「一般就労支援」に携わってきました。

まだまだ若輩者ではありますが、皆さんのご協力をいただきながら、いい意味で「負けん気」をもって、理想である『地域で自立・安心・安定した職業生活の実現』を目指して日々努力していきたいと思えます。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



けやきハイツ 所長 鈴木 美輝さん

みなさんこんにちは。居住生活支援事業所長の鈴木美輝です。新所長紹介ということなのでご挨拶させていただきます。居住生活支援事業所というと、聞き慣れない方もいらっしゃると思います。こぶしの会には地域生活を支援する場としてグループホーム・ケアホームがあります。これまで各地区の事業所を中心に展開してきましたが、22年4月現在で8ヶ所のホーム、利用者数43人、職員数は臨時・パート職員を含めると19人に広がりました。このスケールメリットを生かして、こぶしの会として統一的な運営を行い、支援の中身を深めるためにグループホーム・ケアホーム全体の責任者として所長・主任を配置した居住生活支援事業所が今年度より置かれました。

昨年度は、家族・後援会・地域の方々のご協力により3ヶ所のホームが新築や移転となりました。今年度は充実してきた環境面に負けないよう、支援の中身をひとつひとつ見直して、より安全・安心で快適な生活を送っていただけるよう支援力のレベルアップを目標にしたいと思っております。

今後みなさんのお力をお借りすることがあると思えます。至らない点をご指摘をいただけたらと思えます。今年1年、居住生活支援事業所をどうぞよろしくお願いいたします。





今回は市貝町の
大谷正美さんの
ビニールハウス
にお邪魔させ
ていただきま
した。なかま
のみんなは今
年初めてのイ
チゴ狩りとい
うこともあ
り、嬉しさ
いっぱい表
情でけやき作
業所を出発し

トピックス

こぶしの会 それぞれの現場から

けやき作業所

おいしい楽しい「イチゴ狩り」

Topics

アジサイのつばみも芽吹き始める季節、けやき作業所等家族会会長の豊田さんより、イチゴ狩りのご紹介をいただきました。柔道関係・教育関係・地域の民生委員など数えきれないほどの幅広い活動をされている豊田会長から、このたびはイチゴ農家さんをご紹介していただきました。「楽しんで、ジャムにして商品を開発したらどうだ？」とのこと。さっそく、農家さんと話をうながしていただき、五月二十七日(木)にお伺いしてきました。



「す」と大谷さんにあいさつをし、イチゴ狩りがスタートしました。

ビニールハウスの中はとても暑く、中にはすぐくたがれてしまう方もいましたが、普段あまり活動的でない方が黙々とイチゴを食べては摘んでの作業を汗びっしょりになって行っている姿が印象的でした。また、皆さんご存知でしょうか？イチゴを摘む時に上手につるからイチゴが摘めると「プチン」という何とも心地よい音がするので、今度試してみてください。

ひととおり摘み終わったら自分たちで摘んだイ

ます。現地に着くとすでにイチゴの甘い香りがほのかに匂い、なかまたちは元氣よく「こんにちは」「よろしくお願ひしま

チゴを囲んで、みんなで試食会です。食べ始めるとしばらくの間、「ムシヤムシヤ」というイチゴを食べる音のみの時間が過ぎました。何とも言えない幸せな時間でした。皆、お腹いっぱいになるころ帰る時間が来ました。すると、大谷さんから「イチゴ狩りに来られなかったなかまの分もついでに」と箱いっぱいに入れられたイチゴをお土産にいただき、何から何までお世話になりました。なしのイチゴ狩りでした。

「ありがとうございます」とあいさつをし、「また、来年もおいで」という大谷さんの言葉に「はい」と答え、来年の予約(?)をずうずうしくもしてきてしまいました。来年はもう少し早くお邪魔をし、二回に分けてたくさんのかまにこの機会を提供できたらと思います。大谷さん、素敵な時間をありがとうございました。

※持ち帰ったイチゴは、そのまま生で食べて残った分はジャムにして楽しんでいきます。(先灘)

社会福祉法人こぶしの会 新役員名簿

◎平成22年度 理事会名簿

| | |
|-----|-----------------|
| 理事長 | 藤田 勝春 (弁護士) |
| 理事 | 高橋 温美 (常務理事) |
| 理事 | 鈴木 健夫 (会社社長) |
| 理事 | 鈴木 順子 (常任理事) |
| 理事 | 橋本 道子 (後援会) |
| 理事 | 高橋 昭英 (家族) |
| 理事 | 関口 真紀 (医師) |
| 理事 | 池本喜代正 (大学教授) |
| 理事 | 住谷 佳裕 (元所長) |
| 理事 | 葭田美知子 (NPO法人役員) |
| 理事 | 柳 孝市 (自由業) |
| 監事 | 木村 謙 (弁護士) |
| 監事 | 藤倉 恒男 (経営士) |

◎平成22年度 評議員会名簿

| | |
|-----|--------------------|
| 評議員 | 東岡 歩 (法人職員) |
| 評議員 | 市田トモ子 (障がい者団体代表) |
| 評議員 | 佐護 操 (家族) |
| 評議員 | 直井 信也 (利用者) |
| 評議員 | 村上 一郎 (障がい者団体支部長) |
| 評議員 | 永井 優子 (医大教授) |
| 評議員 | 鈴木 勇二 (障がい者団体事務局長) |
| 評議員 | 水沼 秀幸 (芳賀町職員) |
| 評議員 | 谷田部 洋 (鍼灸師) |
| 評議員 | 日高 定昭 (大学院教授) |
| 評議員 | 田中 徹歩 (弁護士) |
| 評議員 | 矢口 圭子 (元職員) |
| 評議員 | 渡部 眞江 (会社役員) |
| 評議員 | 渡部 眞江 (障がい者団体役員) |
| 評議員 | 木滑シズ子 (保育士) |
| 評議員 | 廣田 久男 (元障がい者団体役員) |
| 評議員 | 飯野 スミ (真岡市精神家族会) |
| 評議員 | 成井 恒雄 (陶芸家) |
| 評議員 | 工藤 浩喜 (ピアノ調律師) |
| 評議員 | 結城 博次 (県NPO協会事務局長) |
| 評議員 | 矢口 季男 (中小企業診断士) |
| 評議員 | 宮下 陽子 (障がい者団体役員) |
| 評議員 | 田崎 亨 (ボランティア) |

社会福祉法人
こぶしの会

- こぶし作業所 ☎321-0126 栃木県宇都宮市茂原町837-1
 ・就労移行支援事業
 ・就労継続支援B型事業
 ・生活介護事業
 ・自立訓練(生活訓練)事業
 TEL 028 (653) 1020 FAX 028 (688) 1121
 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
 - 障がい者生活支援センター こぶし ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 028 (613) 5703 FAX 028 (666) 6128
 E-mail kobushi-sw@tenor.ocn.ne.jp
 - こぶしのときわ荘 ☎321-0139 栃木県宇都宮市若松原2-6-8
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (653) 1477
 - く る み ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (664) 0414
 - けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
 ・就労継続支援B型事業
 ・生活介護事業
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
 - 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 ・就労移行支援事業
 ・就労継続支援B型事業
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
 - 県東ライフサポートセンター ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 「ほっとCHA」
 ・地域活動支援センター
 TEL 090 (7820) 9165
 - 県東ライフサポートセンター「真岡」 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町3-9-5
 ・就労移行支援事業
 ・就労継続支援B型事業
 TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (85) 8055
 - ホームひまわり ☎321-3321 栃木県芳賀郡芳賀町大字下高根沢字下原3932-79
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (666) 4253
 - けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (677) 2876
 - 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1024-1
 ・精神障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 0776
 - コーポ峰 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2
 ・知的障害者ケアホーム
 - セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
 ・就労移行支援事業
 ・就労継続支援B型事業
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
 - ぼてっつと ☎321-4364 栃木県真岡市長田1-12-5
 ・知的障害者グループホーム
 - 芳賀地区障害児者相談支援センター ☎321-4305 栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 0285 (80) 7765 FAX 0285 (80) 7765
 - 県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
 ・障害者の就業相談・支援
 TEL 0285 (85) 8451 FAX 0285 (85) 8452
-
- 法人本部 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 TEL 028 (613) 3707 FAX 028 (666) 6128
 E-mail sphb8h99@jewel.ocn.ne.jp

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください(閲覧時間 8:30 ~ 17:00)

編集後記

2010年上半期は私にとってパツとしない幕開けでしたが、自分と向き合いながら、何とか本調子に戻したいと悪戦苦闘していました。そんな中迎えた新年度、法人30年記念イベントという大きな事業に参加でき、荒馬座のすばらしい公演を観ることができ、とても感動しました。獅子舞の獅子に頭を噛んでもらったので、きっと厄もどこかに逃げて行ったと思います。今年もがんばるぞー!! (星野)

編集委員

大塚 秋穂 小林 勇次 菊地 豊 星野 早苗 廣本 佳奈子 森島 知代

発行所 郵便番号二五〇〇七三

東京都世田谷区砧六―二六―二一
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円